

農業委員・農地利用最適化推進委員が決定

東通村農業委員会農業委員の改選により7月17日、農業委員に任命された皆様に畑中 稔朗 村長から辞令が交付されました。

辞令交付後の組織会では会長に山崎 孝悦 氏、会長職務代理者に奥島 一志 氏が再任されました。

続いて行われた臨時総会では、農地利用最適化推進委員3名を委嘱することが決定しました。

任期は令和8年7月20日から令和11年7月19日までの3年間です。

【農業委員】

役職名	氏 名	地区名
会 長	山 崎 孝 悦	目 名
会長職務代理者	奥 島 一 志	大 利
農業委員	北 川 則 子	小田野沢
農業委員	梶 谷 さと美	尻 屋
農業委員	真 賀 宏	蒲 野 沢
農業委員	吉 田 邦 則	東 栄
農業委員	吉 田 勇	石 持
農業委員	蛇 穴 順 一	尻 労
農業委員	村 田 睦 夫	上 田 屋

【農地利用最適化推進委員】

役職名	氏 名	地区名	担当区域
推進委員	久保澤 昇 一	向 野	第一地区
推進委員	濱 田 幸 彦	東 栄	第二地区
推進委員	吉 田 正 廣	上 田 代	第三地区

農地利用最適化推進委員担当区域

第一地区 大字大利・目名

第二地区 大字蒲野沢・野牛・岩屋・尻屋・尻労

第三地区 大字猿ヶ森・砂子又・田屋・小田野沢
白糠

農業委員・農地利用最適化推進委員の主な業務

- ◆農地の確保と有効利用
- ◆農地等の利用の最適化
- ◆農地の担い手の育成・確保等
- ◆農業者の代表として地域の課題解決



令和7年度電源立地地域対策交付金事業について

東通村には、「東通原子力発電所」の立地及びむつ市の「使用済燃料中間貯蔵施設」、六ヶ所村の「原子燃料サイクル施設」等の立地・建設に伴い、国及び県から電源立地地域対策交付金及び核燃料サイクル交付金が交付されています。

この電源立地地域対策交付金は、発電用施設の設置及び運転の円滑化を図るため、発電用施設の立地地域または周辺地域で行われる公共用施設の整備や住民の福祉、利便性向上のための事業に対して交付されています。

また、核燃料サイクル交付金は、原子力発電所でのMOX燃料（混合酸化物燃料）の使用等に同意した県に対して交付され、県が作成する地域振興計画に基づき交付されています。

当村では令和7年度において次の事業に活用しました。



▲東北電力㈱東通原子力発電所1号機

(単位：円)

事業名	事業概要	事業費	交付金
◆電源立地地域対策交付金		621,168,000	621,168,000
東通村電源立地地域対策交付金基金造成事業（維持運営基金）※国直接分	公共用施設の維持運営に要する経費（光熱水費等、委託料）に充てるための基金造成	100,000,000	100,000,000
東通村電源立地地域対策交付金基金造成事業（事業運営基金）※国直接分	公共事業の運営に要する経費（人件費、委託料）に充てるための基金造成	324,584,000	324,584,000
東通村電源立地地域対策交付金基金造成事業（事業運営基金）※県間接分	公共事業の運営に要する経費（人件費、委託料）に充てるための基金造成	196,584,000	196,584,000

※これまでの実施事業一覧等は、村ホームページ（<https://www.atom-higashidoori.jp/>）に掲載しています。

＜お問い合わせ先＞ 財政課 財政グループ ☎0175-33-2264